

2022年度 日本工学院専門学校											
建築設計科											
設計製図 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	90	単位	3
担当教員	小林 郁夫 他 5 名			実務経験	有	職種	建築設計／一級建築士				
担当教員紹介											
組織設計事務所で 9 年間設計監理の修業をしたのち、独立。約 1 4 年間、設計事務所を主宰。住宅・集合住宅の設計監理を主軸に、オフィスビル・寄宿舎・店舗・倉庫・宿泊施設などの業務経験をもつ。											
授業概要											
作図練習では線・レタリングの練習、部屋の寸法や家具の寸法を理解した上での基本図面の練習を行う 設計実習においては、木造住宅の基本寸法・機能を理解した上で、一般的な 2 階建て住宅の設計課題をする 教員とのコミュニケーションを密にすることに重点を置き、創造的な力を養う練習をする 卒業直後に、二級建築士製図試験合格を目指す											
到達目標											
以下、三つを習得する 1．図面表現に必要な線の種類、線の太さ、レタリングの書き方を習得し、図面の読み、また正確な図面を作成することを目標とする 2．設計計画においては、人体寸法・家具寸法・空間の広さを理解し、常識的な設計ができることを目標とする 3．二級建築士製図試験で求められる基礎知識と技術を習得する											
授業方法											
目標達成のため下記授業内容詳細により授業を展開する。											
成績評価方法											
課題	70%	課題毎に提出。課題の提出状況および完成度合いにより評価									
成果発表	20%	授業内に行われるグループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
想像力を養うことを目的とするため、エスキス・スタディーを授業前に準備をして、教師とのコミュニケーションを取ることを求める 授業中の私語や受講態度には厳しく対応する 理由のない遅刻・欠席は認めない 授業時数の4分の3以上出席しない者は補修課題で足りない部分を補う											
教科書教材											
初学者の建築講座-建築計画（第3版）、第3版コンパクト設計資料集成（丸善）、建築デザイン製図（学芸出版社）／配布資料											
回数	授業計画										
第1回	講師による「建築へ」の画像紹介 道具の使い方、線の種類・レタリングの練習										
第2回	開口部の種類・意義について理解を深め、表現方法を学ぶ										
第3回	図面の書き方：1 階平面図 写図										
第4回	図面の書き方：2 階平面図＋配置図 写図										
第5回	図面の書き方：断面図 写図										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築設計科	
設計製図 1	
第6回	図面の書き方：立面図 写真 住宅設計課題：エスキス 1
第7回	図面の書き方 5：図面の整合性の確認 住宅設計課題：エスキス 2
第8回	講師の好きな「建築・空間・デザイン」の紹介 住宅設計課題：オリジナルプラン 1階平面図作成
第9回	住宅設計課題：2階平面図・配置図作成
第10回	住宅設計課題：断面図作成
第11回	住宅設計課題：立面図・設計主旨作成 模型の作り方の解説
第12回	住宅設計課題：模型作成（部材を切る）
第13回	住宅設計課題：模型作成（仮組み立て）
第14回	住宅設計課題：模型作成（家具・仕上げ材をつくる） 図面表現の確認および加筆訂正
第15回	住宅設計課題：全体鑑賞会、グループごとの講評会 選抜者発表